

映画の都ハリウッドも今では観光客相手の店がひしめき合っている ここはロサンゼルス定食コースのNO.1

オノボリさん目当てのヘッド・ショップが並んでいる

一年間のうちに雨の日がほんの数日という恵まれた天候のロサンゼルス。大がかりなスタジオ撮影ができず、もっぱらロケーション撮影をして、いた1910年代にこの天候に眼をつけたプロデューサーたちがロサンゼルスに全米から集まり、ハリウッドに一大映画村を作った。これが映画の都ハリウッドの始まり。30年後、1940年代にはアメリカ映画のはず90%をハリウッドで制作するスター前の写真

るようになったのだ。ところが今はテレビの出現で全くの落ち目。有名なチャイニーズ・シアターを始め映画館は多いが、昔のプロマイド屋が今ではほとんどヘッド・ショップになっている。



↑スターの手型、足型で有名なチャイニーズ劇場



↑芸能界のスターや有名人の業績を歩道に記録してあるハリウッド名物のWalk of The Fame

ここは最もLAらしいサンセットBLVD.

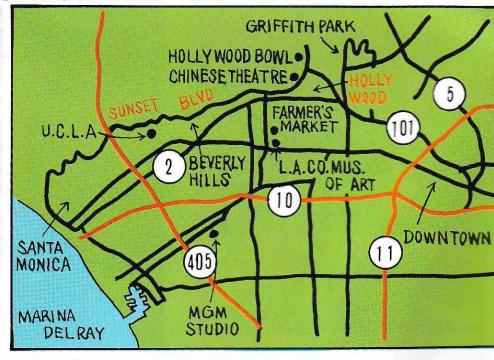
目を閉じてロサンゼルスのことを想い出す……と必ず瞼に浮かんでくる、風になびいた青空の下のパーム・ツリー。それがこのサンセット・ブルバードだ。この通りにはK-WESTを始めとする、LAの文化のひとつでもあるFM局が並んでいる。車で1時間もかけてLA郊外から通勤している人たちにとってラジオは大切な情報だ。ここにはポップスからクラシック専門局まで、約20局もFM放送局がある。



1400 GLS(メーカーオプション)



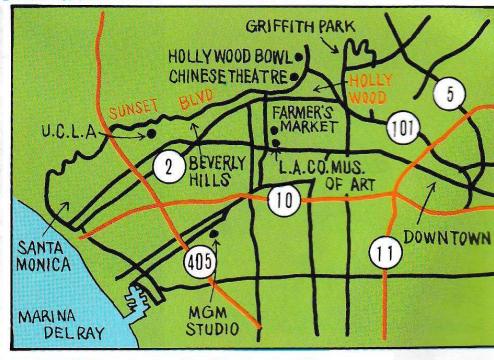
↑サンセットはロサンゼルスの不夜城のひとつ



↑列車を利用したホット・ドッグ&ハンバーグ店



↑このタワーレコードにないレコードはない!?



↑列車を利用したホット・ドッグ&ハンバーグ店

ニューヨークのフィフス・アヴェニューと並ぶ西の高級店街 ロデオ・ドライブはベヴァリーのダウンタウン

ダウンタウンから太平洋に面したサンタモニカに通じる25キロの大通り、ウイルシャーBlvd.はロサンゼルス市民が世界に誇る大通りだ。ミラクル・マイルを過ぎてベヴァリーヒルズに入ると左右に超高級品店がズラリと並ぶ。特にロデオDR.にはエルメス、グッチ、セリース、ティファニーなど、フォーブル・サントノレや五番街に匹敵する超一流店がわずか500m位の通りにズラリと並んでいる。もちろん値段の方も超一流ではあるけれど、日本のデパートで買いたいよりも数段安いので、日本の旅行者で賑わっている。



↑雨が降らず気象条件がいいので車も長持ちする



↑ロデオDR.にレストランは三つしかない

↑ベヴァリーヒルズに家を持たないスターが泊まるホテル・ベヴァリー・ウイルシャー。ここロビーでねばっていれば、スターに逢えるかも知れない。

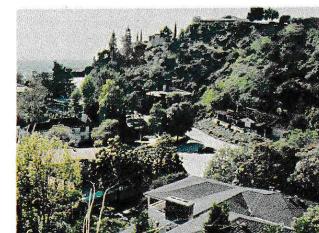


ベヴァリーヒルズは世界的な超豪華住宅地の代名詞だ

手許にあるStars' Homes Map(27×50)を紐解いてみるとベヴァリーヒルズとベルエア地区だけでなんと217名のスターの名前が地図に載っている。ロックスバーDR.はジェームス・スチュアートやルシル・ボールなど、10名以上のスターが軒を連ねているスター通りだ。



↑ベヴァリーヒルズの入り口にある豪華な家



↑ベヴァリーヒルズのトップから見た高級住宅街



↑超豪華住宅街の象徴ロイヤル・パーム・ツリー

静寂なベヴァリーヒルズを静かに走るミラージュ

どんなに快適な居住性をもっていても静かさが欠けていてはぶちこわしだ。音を出さない。出た音は素早く吸収する。外の音を入れない。ミラージュはこの3点を徹底的に追求した。騒音といわれる基準は80dB。ミラージュは100km/h 69dBの静かな世界だ。

